



時代の変化に対応する、望まれる効果的な能力開発と人材育成のあり方を探るため、職業能力開発を取り巻く諸問題について、道内の職業能力開発と技能検定などの関係者が一堂に会し、問題意識を共有し、意見交換を行い、相互啓発を図ると共に、よりよい情報を提供し、職業能力開発の推進について理解と認識を深め、さらには地域産業の発展に寄与しようとするものである。また、若者のものづくり離れ、技能離れの問題に対し、技能五輪全国大会への参加など、若者が進んで技能者を目指す環境などを整備し、技能振興気運の醸成を図ることを目的とする。

大会日程

12:00～
13:00～14:20

受付
開会(副大会長)
大会長挨拶
表彰式

- ・認定職業訓練実施関係
- ・技能検定事業実施関係
- ・技能振興事業実施関係
- ・技能評価事業実施関係
- ・技能審査事業実施関係
- ・第53回技能五輪全国大会入賞者
- ・技能者育成基金寄付者
- ・北海道若年優秀技能者知事賞

14:30～15:15
(会場移動)
15:30～17:00

来賓紹介
来賓祝辞
第42回認定職業訓練生主張発表北海道大会

記念講演

講師「植松 努氏(株式会社 植松電機 専務取締役)」
講演メインテーマ「思うは招く」
サブテーマ～夢があればなんでもできる～

17:05～17:25
17:25～17:30
17:30
(会場移動)
18:00～20:00

第42回認定職業訓練生主張発表北海道大会表彰式
大会決議(地元実行委員)
閉会(副大会長)

交歓会(ホテルベルクラシック北見)

※大会中は、技能五輪等技能振興フェア及び北海道技能振興コーナーのブースが設けられております。

記念講演 講師プロフィール



植松 努氏 1966年8月17日 芦別市生まれ

●略歴

- 1985年 芦別高校卒業・北見工業大学 応用機械工学科入学 流体力学専攻
- 1989年 北見工業大学卒業
菱友計算株式会社 航空宇宙統括部入社 数値流体解説チーム配属
三菱重工業(株)名古屋航空宇宙システム製作研究部空力研究科に出身
- 1994年 同上退社 芦別市の植松電機に就職
- 1999年 コンクリート圧砕機用アクティブマグネット方式を考案 会社を法人化
- 2000年 会社を赤平市第二工業団地に移転し、第一工場・第二工場を建設
- 2004年 北海道大学大学院の永田教授と出会い共同でカムイ式ロケットの開発を始める
- 2005年 第三工場を建設し研究開発拠点の強化をする
- 2006年 (株)植松電機敷地内に微小重力実験塔が完成
人工衛星「HIT-SAT(ヒットサット)」の開発に携わり打ち上げに成功する

- 2007年 カムイロケット250sの打ち上げ実験で到達高度3500メートル達成
- 2008年 カムイロケットを1年間で18機打ち上げる
小中学校の工場見学や体験学習業務を本格的に稼動する
宇宙航空研究開発機構(JAXA)と協同で打ち上げ実験を実施
- 2009年 ARCプロジェクトの準備に着手し、ARC棟(発展型研究施設)を着工する
- 2010年 ARCプロジェクトを開始する
- 2012年 カムイロケット500pの打ち上げ実験で到達高度7400メートル達成

●主な著書

- 「NASAより宇宙に近い工場」
出版社：ディスカヴァー・トゥエンティワン
「空想教室」
出版社：サンクチュアリ出版